

じそんのかね

自尊の鐘



蕪崎西中学校 学校だより

2020.12.2. NO17

発行責任者 校長 秋澤英俊

「人を敬い、いっくしみ、自らをたつとび高める」、校訓『敬愛自尊』のもとに、毎朝鳴らされる「自尊の鐘」。今日をどのように過ごし自分を高めていくのか、鐘の音を聴きながら「理想をめざし日に進む」(校歌)、生徒たちの成長の姿をお知らせします。



新しい戦組での生徒会選挙の活動が始まりました!

5月末から始まった学校も、はや12月になり、今年も残すところあと1ヶ月になりました。3年生が進路に向けて毎日努力を続けている頃、1、2年生は来年度の生徒会役員選挙に取り組んでいます。感染症対策で、朝の選挙活動も各候補者を分散して行い、給食中の候補者の教室への訪問活動も校内放送で行っています。今年から立会い演説会も演説自体は放送で、討論会のみ時間短縮をし体育館で行うことになりました。短時間で密を避けるためですが、討論会だけは立候補者の個性がつかみやすいということで、体育館において全校生徒で行うことになりました。立会い演説会・討論会は7日(月)です。



いつも思っていることですが、生徒会の選挙活動は、来年度のリーダーを選ぶだけでなく、各候補者が選挙活動を通して、蕪崎西中を引っ張っていくというリーダーとしての覚悟と決意を固めるものです。それぞれが公約を考え、決意を語り、意欲を示すことで、生徒会の、学校の明るい未来を描くこととなります。なぜなら候補者の発言すべてが、西中をよくしたいという信念に基づいているからです。



明日の西中を占う生徒会選挙の活動に大きな期待を感じています。最後まで全力で活動してほしいと思います。



朝の活動の応援者も、候補者以外今年は5人までと人数を制限した中で行っています。人数が少ない分、プラカード等で工夫をこらす陣営も見られました。

